



問 町の水道経営改善の糸口は

答 国や県と協議して広域化・共同化を進めることにある

2025年南摩ダムが完成し安定水利権を得ると、1日最大給水量現状11,500㎥（埼玉県水受水分3,400㎥+安定水利権分8,100㎥→計画1日平均給水量9,890㎥→年間総配水量約360万㎥）となるが、今後の水需要計画はどのように捉えているのか。

問 水需要の動向は。

上下水道課長 食品会社製造ライン増設に伴い令和4年度に年間15万4千㎥増を見込んでいます。圏央道IC周辺開発地か

ら日量500㎥の要望もあり、数年以内に年間総配水量が170万㎥以上になると見込んでいます。

問 南摩ダム事業費負担（予定17億円）の財源及び町財政負担は。また、対策案は。

政策財務課長 財源は、水道事業会計の収入として企業債借入及び一般会計からの出資金を充てます。なお、財政負担は企業債の借入による公債費比率増と一般会計から水道事業会計への繰り出し増による全体事業への影響が後年度にわたり及ぶもの

と予測されます。対策としては、全体事業を含め優先順位を決めるとともに歳出の平準化を行い持続可能な形にしていくことにあります。

問 今後の方向性は。

町長 水道の他、公共下水、農業集落排水も一般会計から補填する厳しい経営状況にありますが、施設の老朽化対策を行いながら、県を越えた広域化・共同化を含めて、取り組んでまいりたいと考えています。

項目 \ 年度	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
年間総配水量（㎥）	1,444,000	1,543,000	1,561,000	1,583,000	1,546,000
給水人口（人）	8,796	8,635	8,552	8,396	8,279
※1日最大給水量（㎥）	5,162	5,657	5,425	6,361	5,762

備考：※1年を通じ、1日で、最も多く使用した日の給水量

問 町民のウォーキング普及促進は

答 気軽にできて、健康と町活性化につながる事業を計画していきたい

茨城国体で町はウォーキングを開催、多くの参加者（総勢1,073名）を得た大会となったが、この機運を町活性化につなげてはと考えるが。

問 普及に際し問題点は。

教育次長 公衆トイレ不足と一般道の安全面の懸念があります。他の大会、趣向を参考に既存施

設、県指定のヘルスロードを最大限に利用する等に対応したいと考えています。

教育長 花見ウォーク開催等、国体だけでウォーキングを終わらせることなく、その経験と知識を生かして、体協、歩楽里会、スポーツ推進委員・協力員の協力を得ながら普及に取り組んでまいりたいと考えています。

